# 2023年4月入学生用 教職課程説明資料

## (生物生命学部)

### 1. 免許状の種類及び教科

学科	免許状の種類及び教科
生物生命学科	高等学校教諭一種免許状(理科) 中学校教諭一種免許状 (理科)

### 2. 免許状取得資格

### (1) 基礎資格と最低修得単位数

教育職員免許状を取得するための基礎資格は学士の学位を有すること。

その他に、教育職員免許法に定められた「大学における最低修得単位数」の科目として「教職に関する科目」、「教科に関する科目」、「文部科学省令で定める科目」の単位を修得が必要。単位数は次の通り。

		本学における最低修得単位数						
免許状の種類	基礎資格	教育の基礎的理解 に関する科目等	教科及び教科の指 導法に関する科目	文部科学省令で定める科目				
高等学校教諭一種免許状 (理科)	学士の学 ・位を有す	2 4	3 5	1 2				
中学校教諭一種免許状 (理科)	ること	2 8	3 1	1 2				

#### (2)教育の基礎的理解に関する科目等

### ★理科(高校) 認定学科 : 生物生命

施行規則に定める科目区分等		授業科目		単位	1年次		2年次		3年次		4年	三次	
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数		及未行口		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思 想		0	教育原論	2		0						
の基	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		0	教職概論	2	0							
礎 的 理	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	10	0	教育制度論	2		0						
解に関	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習 の過程		0	教育心理学	2					0			
する	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生 徒に対する理解		0	特別支援教育論	1			0					
科目	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		0	教育課程論	1					0			
の道	道徳の理論及び指導法			道徳教育指導論	2								
指徳 相導、	総合的な探究の時間の指導法	<u>I</u>	0	総合的な学習の時間の指導法	2				0				
談法総等及合	特別活動の指導法		0	特別活動論	1					0			
サに関生 関生 は は は は は は は は は は は り は り は り に り に り	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の 活用を含む。)	8	0	教育方法論 (ICT活用含む)	2						0		
る指習 科導の	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		0	進路指導・生徒指導論	2			0					
目、時 教間 育等	教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法		0	教育相談の理論と方法	2			0					
関教			0	事前・事後指導	1						0	0	
す育る実	教育実習	3	0	教育実習 I (中・高)	2							0	
科践				教育実習Ⅱ(中)	2								
目に	教職実践演習	2	0	教職実践演習(中・高)	2								0
	計	23			24	24							

※◎Oは必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること ☆◎は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

#### ★理科(中学) 認定学科 : 生物生命

施行規則に定める科目区分等		<b>一</b> 授業科目		単位	1年次		2年次		3年次		4年次		
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	及水打口		数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思 想		0	教育原論	2		0						
の 基	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	Ì	0	教職概論	2	0							
礎的理解	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	10	0	教育制度論	2		0						
門に関	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習 の過程		0	教育心理学	2					0			
する	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生 徒に対する理解		0	特別支援教育論	1			0					
科 目	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュ ラム・マネジメントを含む。)		0	教育課程論	1					0			
の道	道徳の理論及び指導法		0	道徳教育指導論	2						0		
指徳 相導、	総合的な探究の時間の指導法	1	0	総合的な学習の時間の指導法	2				0				
談法総	特別活動の指導法	I	0	特別活動論	1					0			
等及合的ない	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の 活用を含む。)	10	0	教育方法論 (ICT活用含む)	2						0		
す徒学習 科導、	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	]	0	進路指導・生徒指導論	2			0					
目、時 教問 育等	教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法		0	教育相談の理論と方法	2			0					
関教			0	事前・事後指導	1						0	0	
す育 る実 科践	教育実習	5	0	教育実習 I (中・高)	2							0	
			0	教育実習Ⅱ(中)	2							0	
	教職実践演習	2	0	教職実践演習(中・高)	2								0
	計	27			28								

※◎○は必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること ☆介護等体験7日間「社会福祉施設5日間、盲·聾·養護学校2日間」(中一種免許必修) ☆◎は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

### 中学免許

※高校免許は次のページへ

#### (3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★生物生命学科 「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

目 分	各科目に含めるこ とが必要な事項	最低修得 単 位 数	授業科目	単位数	備考		
	物 理 学		○ 基礎物理学 物理学	2 2			
	物理学実験		○ 物理学実験	2			
教	(コンレエ が位用を占む。)		〇 化学 I	2			
ا به			分子生命化学Ⅱ	2			
	//.						
	化		生物物理化学	2			
l.=							
Ç			○ 生化学 I	2			
				2			
関			分子生命化学実験	2	7		
	化 学 実 験		生命科学基礎実験	2	選択必修2単位		
	(276 1 741/11 2 11 2 1		生命情報科学実験				
す			応用微生物学 I	2			
		各項目に	生物資源環境工学	2			
る		ついてそ					
			細胞生物学	2			
审							
守		中31年世	微生物遺伝学	2			
	   生 物 学						
門			バイオテクノロジー総論Ⅱ	2			
			生体情報学	2			
的							
			細胞培養工学	2			
			代謝工字 細胞機能学	2 2			
事			自然共生人類学	2			
			応用微生物学実験	4	7		
TE .	生物学実験		微生物遺伝学実験 医田佐体工学実験	2	選択必修2単位		
垻			細胞工学実験	2			
			○ 地学	2			
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
			○ 理科教育法Ⅱ	2			
び	教材の活用を含む。)		<ul><li>○ 理科教育法Ⅲ</li><li>○ 理科教育法Ⅳ</li></ul>	2 2			
	<ul><li>教科に関する専門的事項</li><li>教教</li></ul>	特	物 理 学	*** *** *** ** ** ** ** ** ** ** ** **	物 理 学 実 験		

## 高校免許

### (3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★生物生命学科 「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科区	目分		最低修得 単 位 数	授業科目	単位数	備考																																	
		物 理 学		○ 基礎物理学 物理学	2 2																																		
教	教									○ 化学 I ○ 化学 II 分子生命化学 I 分子生命化学 II	2 2 2 2 2																												
科	科	化    学		<ul><li>○ 分析化学</li><li>○ 有機化学</li><li>生物物理化学</li></ul>	2 4 2																																		
及				酵素学 発酵化学 ○ 生化学 I	2 2 2																																		
び	に			生化学Ⅱ 生体高分子科学	2 2																																		
教	関			応用微生物学 I 応用微生物学 II 微生物利用学	2 2 2																																		
科				生物資源環境工学 生物反応工学 分子遺伝学	2 2 2																																		
0	す		各項目に ついぞれ1 単位以上 高35単位	ついてそれぞれ1	ついてそ れぞれ1	A-E-01-	<i>4-</i> = 0	t at the	t at the			<b>6</b> - <b>7</b> - <b>9</b> )	<b>6</b> - <b>7</b> - <b>9</b> )	<b>4</b> - <b>7</b> - <b>1</b> )	f et la la	t at the	f =T [] );	<b>4</b> - <b>7</b> - <b>9</b> )	from D.	<i>f</i> .=T.D.)	# =T II ) =	<i>f</i> .=T.D.v.	<b>4.</b> ₹□	<i>f</i> = <i>T</i>   1 )	<b>4</b> - <b>7</b> - <b>9</b> )	<b>5.</b> ₹ □ □	夕石口	<b>4</b> ₹ □ ) <b>*</b>	<i>5</i>	タモロス	ATT DIS	タモロン	t et e	t at the	from D.		細胞生物学 応用分子生物学 遺伝子工学	2 2 2	
指	る	生物学				微生物遺伝学 ○ 生物学 バイオテクノロジー総論 I	2 2 2																																
導	専			バ イオテクノロジー総論 II 分子生物学 遺伝子科学	2 2 2 2																																		
法	守																	生体情報学 生体システム論	2 2																				
に	門			細胞工学 細胞培養工学 代謝工学	2 2 2																																		
関	的			細胞機能学 自然共生人類学 生理活性物質	2 2 2																																		
す		地     学       物理学実験       (コンピューク活用を含		<ul><li>○ 地学</li><li>物理学実験</li><li>分子生命化学実験</li></ul>	2 2 2	]																																	
る	事	む。) 化学実験 (コンピュータ活用を含					分析化学実験 生命科学基礎実験 生命情報科学実験	2 2 2																															
科	項	む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含																生命環境科学実験	2 4	選択必修2単位																			
目		む。) 地学実験 (コンピューク活用を含		医用生体工学実験 細胞工学実験	2 2 2																																		
		む。) 科の指導法(情報機器及 教材の活用を含む。)		地学実験 ○ 理科教育法 I ○ 理科教育法 II	2 2 2																																		

## (4) 文部科学省令で定める科目

文部科学省令で定める科目	最低修得 単 位 数	本学の授業科目	単位数	備考
日本国憲法	2	◎日本国憲法	2	必修
		◎健康スポーツ教育 I	1	これら 2 科目より 1 科目選択・
体育	2	◎健康スポーツ教育Ⅱ	1	必修
		◎健康科学概論	2	必修
外国語コミュニケーション	2	◎イングリッシュコミュニケーションⅢ	2	必修
<b>シト国</b> 聖っ (3元/)、 √3√	2	◎イングリッシュコミュニケーション <b>I</b> V	2	北修
情報機器の操作	2	◎情報処理基礎	2	必修
計	8	計	1 1	